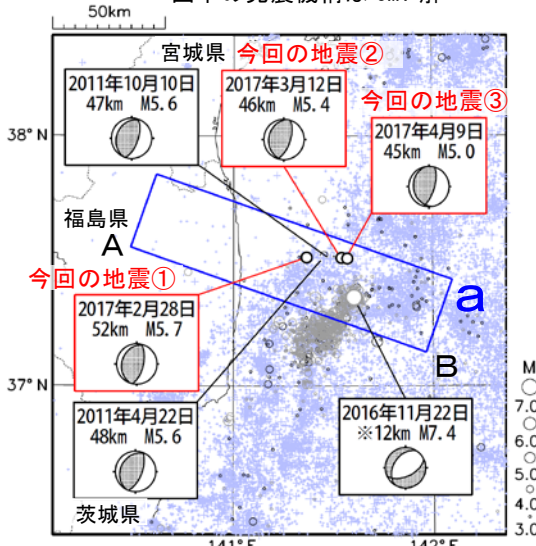


## 2月28日、3月12日、4月9日 福島県沖の地震

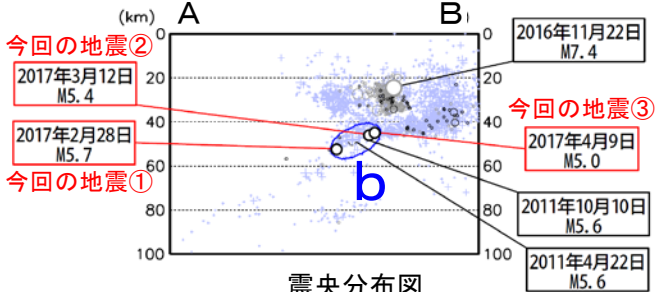
震央分布図\*  
 (1997年10月1日~2017年4月30日、  
 深さ0~100km、 $M \geq 3.0$ )  
 2016年11月21日以前に発生した地震を+、  
 2016年11月22日以降に発生した地震を薄い○、  
 2017年2月以降に発生した地震を濃い○で表示  
 図中の発震機構はCMT解



\* 2016年11月22日~2017年1月31日の期間は未処理のデータがある。

※ 2016年11月22日の地震 (M7.4) の深さはCMT解による。

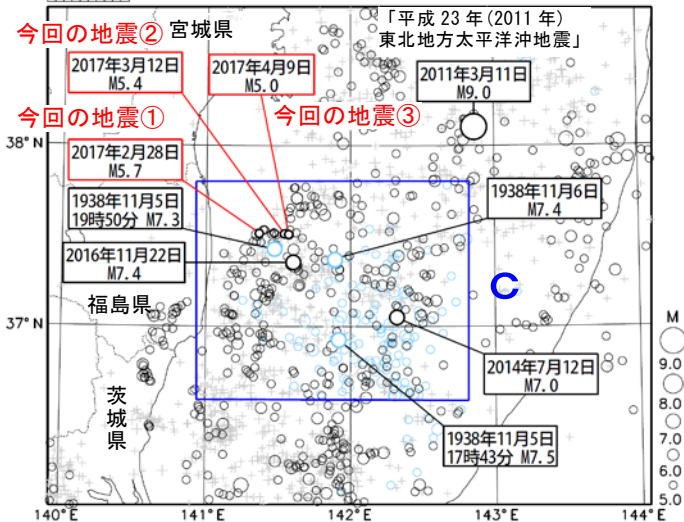
領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図

(1923年1月1日~2017年4月30日、  
 深さ0~100km、 $M \geq 5.0$ )

1938年11月1日~12月31日に発生した地震を○、  
 東北地方太平洋沖地震発生以降に発生した地震を濃い○、  
 それ以外を薄い+で表示



2017年2月28日16時49分に福島県沖の深さ52kmでM5.7の地震 (最大震度5弱、今回の地震①)が、3月12日04時57分に福島県沖の深さ46kmでM5.4の地震 (最大震度4、今回の地震②)が、4月9日07時20分に福島県沖の深さ45kmでM5.0の地震 (最大震度3、今回の地震③)が発生した。発震機構 (CMT解) は、地震①と②が西北西-東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型、地震③が東西方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、いずれの地震も太平洋プレートと陸のプレートの境界で発生した。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) では、「平成23年 (2011年) 東北地方太平洋沖地震」 (以下、東北地方太平洋沖地震) の発生以降、地震活動が活発化している。

1923年1月以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) では、1938年11月5日17時43分にM7.5の地震が発生した。この地震により、宮城県花淵で113cm (全振幅) の津波が観測された。この地震の発生後、地震活動が活発となり、同年11月30日までにM6.0以上の地震が25回発生していた。これらの地震により、死者1人、負傷者9人、住家全壊4棟、半壊29棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。

領域b内のM-T図及び回数積算図\*

